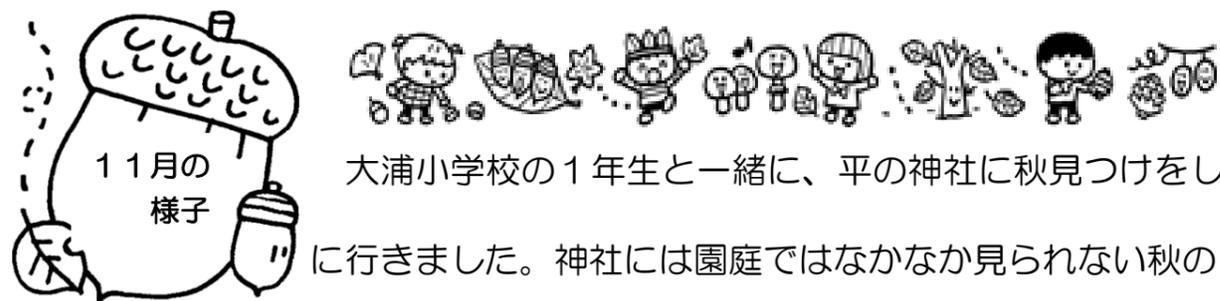




秋の気配がますます深まる季節です。子どもたちは、落ち葉を踏みしめたり、

どんぐりを拾ったりと、秋の自然に親しんでいます。園庭では寒さに

負けず、たくさん身体を動かして遊んでいます。



大浦小学校の1年生と一緒に、平の神社に秋見つけをし

に行きました。神社には園庭ではなかなか見られない秋の

木の実がありました。鮮やかな色の葉っぱだけを選んでいる子や、虫食いのな

いどんぐりだけを拾っている子など、こだわりを持って探している様子が見ら

れました。それ以来、秋の物への意識が高まり、園庭に出ると、「先生！こん

な綺麗な色の葉っぱ見つけたで！」「ハートの形の葉っぱもあった！」と、

園庭や散歩先で探して集めるようになりました。また、木々の色付きの変化な

ど、以前はあまり意識していなかったことに気が付くようになったり、家で

拾ってきた木の実をみんなに見せようと、自発的に持ってきたりするようにな

りました。木の実の名前を図鑑で調べて友達と教え合う姿や、こだわりを持っ

て秋の物を集める姿、拾ってきた物で何が出来るか考え、試行錯誤して工作を

する姿など、たくさん成長が見られる秋見つけとなりました。



エピソード記録



最近、男の子の間で、あるゲームが流行っています。

その中で、家を立てたり、畑を作ったりする様で、園庭で石を使って畑を作ったり、木を使ってクワやハンマーを作るのが流行っています。

木と紐でシャベルを作っている時の1コマです。

A君「このシャベルグラグラせんようにして！」

山口（紐で更に補強してみる）「うーん…完全に動かないようにするのは難しいかなあ」

B君「じゃあここ（木と紐の間）に、石を入れたら動かんくなるんちゃう？ちょっとやらせて！」（隙間に小石を詰めていく）

B君「これで動かんくなったんちゃう？」

A君「ほんまや！ありがとうB君！」

それを聞いていたC君も、B君の真似をして、小石を詰めだしました。

保育教諭は紐を使って補強しようとしたのですが、なかなか上手くいきませんでした。

そのやり取りを聞いていたB君から、全く違う発想の“石を使う”という発想が出てきました。日頃から色々な素材・事象に触れ、親しみ、試行錯誤しながら遊んでいるからこそ、石の汎用性に気付き、今回のような発想が出てきたのだと思います。

外遊びは、試行錯誤の連続です。どうやったら上手くいこうか、こうしてみるのはどうかな、と子どもたちは無意識にですが、考えながら遊んでいます。危険でないかどうかは、見極めて頂きたいですが、出来る限り子どもたちの“試行錯誤”を見守ってあげてください。今は遊びですが、今後その考える力が、思考力・学習意欲に繋がっていきます。今はまさに“遊びながら育っていく”のですね。遊びの力、すごいです！



1日(水)	茶道体験
6日(月)	体操教室
9日(木)	防火サント
23日(木)	お誕生会
24日(金)	クリスマス会
28日(火)	おもちつき大会
29日(水)~1月4日(火)	冬休み

9日(木)の防火サントは、高浜消防署に生演奏を聴きに行きます。9時15分に園を出発しますので、送って来られる方は9時までに登園して下さい。よろしくお願いいたします。